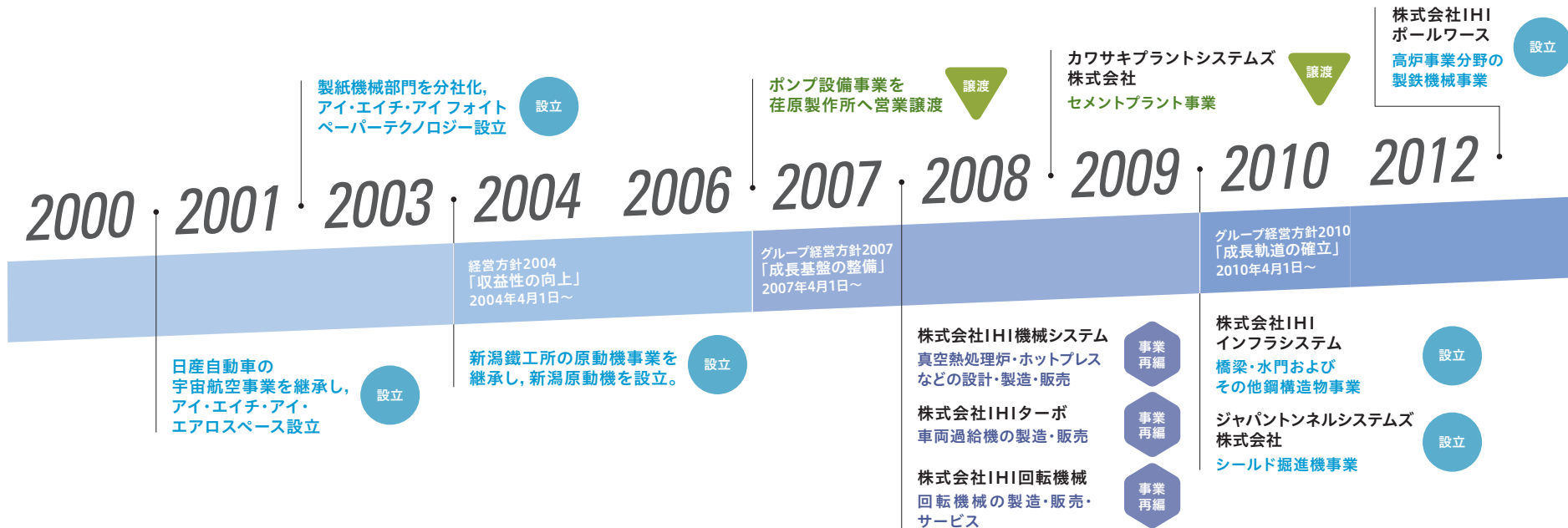


事業ポートフォリオの変遷

IHIグループは、現在の延長線上の成長だけでは、自社の持続的な高成長が難しい時期にきたと認識しています。創業以来、各時代の困難な社会課題を解決しながら自社の発展を遂げるために、主力事業を大きく変えてきました。この実績と経験を糧に、今後も複数の柱を持つ最適な事業ポートフォリオを構築してまいります。



重要な出来事

2000年 日産自動車の宇宙航空事業を継承

日産自動車とルノーが1999年3月に資本提携し「日産リバイバル・プラン」が発表されました。自動車事業に経営資源を集中させるため、ノンコア事業である宇宙航空事業が石川島播磨重工業(現IHI)に事業譲渡され、2000年7月1日にアイ・エイチ・アイ・エアロスペース(現IHIエアロスペース)として営業を開始しました。IHIエアロスペース(IA)はIHIグループの宇宙開発の拠点となっています。

2003年 新潟鐵工所の原動機事業を継承

2003年新潟鐵工所の原動機事業を継承し、新潟原動機を設立。新潟鐵工所は、日本で初めて船舶用のディーゼルエンジンを開発・製造した会社であり、現在の原動機事業の礎となっています。

2019年には、IHIの原動機事業とディーゼルユナイテッドを新潟原動機に統合し、IHI原動機を設立しました。

2009年 栗本鐵工所、松尾橋梁の橋梁・水門事業を継承

国内の橋梁や水門事業は、公共事業の減少で受注競争の激しい状況下にありました。橋梁は栗本鐵工所と松尾橋梁、水門は栗本鐵工所の事業がIHIに譲渡されて、IHIインフラシステム(IIS)となりました。松尾橋梁の大阪府堺市に隣接する工場と栗本鐵工所とは現在も活用されています。

事業ポートフォリオの変遷



2009年 ジャパントンネルシステムズ設立

2016年にはJIMテクノロジーを設立

シールド掘進機業界は、縮小した市場規模に比べて企業数が多く、各社は生き残りをかけて、生産体制を再構築していました。このような背景のもと、IHIとJFEエンジニアリングは両社のシールド掘進機事業の競争力強化を目的として、2009年に事業統合し、ジャパントンネルシステムズを設立しました。2016年10月には三菱重工業のトンネル掘削機事業を統合し、現在の「JIMテクノロジー」が発足しました。

2013年 IHIMUとユニバーサル造船(JFEHD傘下)が統合、ジャパマリンユナイテッドに

IHIの船舶海洋事業は2002年に分社化されて、マリンユナイテッド(IHIの船舶部門と住友重機械工業の艦艇部門が統合)と統合し、アイ・エイチ・アイ・マリンユナイテッド(IHIMU)となりました。さらにIHIMUは2013年1月にユニバーサル造船(日立造船と日本鋼管の船舶部門が統合)と経営統合し、「ジャパマリンユナイテッド」となりました。

2023年 IHI原動機の船用大型エンジン事業を三井E&Sホールディングスに譲渡

IHI原動機が手掛ける大型船舶向けエンジン部門を、船舶エンジンを主力事業とする三井E&SHDに譲渡しました。この譲渡により、IHIは原動機事業のポートフォリオの再編を加速させています。